

大会名 Competition	第25回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-110	Year Month Day Time 2012 年 5 月 4 日 16 : 40
場所 Place	能代市総合体育館



主審:Referee 蒲 健一
副審:Umpire 針生 淳男 加川 真
テーブルオフィシャル:Table officials 能代商業高校

チームA 延岡学園 96 ○	29 1st 30 16 2nd 23 24 3rd 13 27 4th 22 OT	チームB 能代工高 88 ●
-------------------------	--	-------------------------

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	寺園 修斗	cap	16	0	6	4	1	4	×	土屋 真人	CAP	18	4	3	0	4
5	×	ジヨフ バンバ		61	4	22	5	0	5	×	佐々木 健登		13	0	5	3	2
6	×	平田 貴大		10	0	3	4	4	6	/	松本 大河		0	0	0	0	1
7	×	山田 将吾		4	0	2	0	2	7	/	野里 惇貴		26	7	1	3	4
8	×	佐藤 友弘		3	0	1	1	4	8	/	三根 一求		3	1	0	0	5
9	/	古沢 秀美		2	0	1	0	3	9		畠山 凌		-	-	-	-	0
10		中島 蒼		-	-	-	-	0	10	×	中島 強太		26	1	10	3	0
11	/	夏井 隆光		0	0	0	0	0	11		五十嵐 駆		-	-	-	-	0
12		大西 健斗		-	-	-	-	0	12	×	小田桐 匡志		0	0	0	0	1
13		松田 将馬		-	-	-	-	0	13	×	長谷川 暢		2	0	1	0	0
14	/	野中 亮吾		0	0	0	0	0	14		吉川 雄磨		-	-	-	-	0
15		ハブ マリカ		-	-	-	-	0	15		荒木 直哉		-	-	-	-	0
16		安堂 遼		-	-	-	-	0	16		伊藤 諒哉		-	-	-	-	0
17		廣瀬 大和		-	-	-	-	0	17		安保 友貴		-	-	-	-	0
18		青木 風斗		-	-	-	-	0	18		渡邊 竜也		-	-	-	-	0
コーチ		北郷 純一郎							コーチ		佐藤 信長						
アコーチ		丸岡 英文							アコーチ		平山 智哉						
合計				96	4	35	14	14	合計				88	13	20	9	17

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタートする。立ち上がり、延岡学園#5バンバのゴール下シュートで先制する。対する能代工は、#10中島のジャンプシュート、#4土屋のレイアップなどで対抗する。#5バンバを中心にゴール下の高さを活かして攻撃する延岡に対し、能代工は速い展開で相手を崩そうとするが、延岡の#8佐藤を中心としたドライブで立て続けに得点を許し、残り6分余りで17-6延岡が11点リードしたところで能代工はタイムアウト。ディフェンスをオールコートマンツーマンに切り替え、延岡ガード陣にプレッシャーを与えると流れは能代工に傾いていく。#7野里の3Pや#5佐々木のジャンプシュートなどでじりじりと点差を詰めると、残り2分余りで23-24と逆転に成功する。延岡も#9古沢のジャンプシュートで追いつき、29-30能代工が1点をリードして1Qを終了する。

2Q、延岡は#5バンバのゴール下や#4寺園のドライブで一時再逆転するものの1Q同様能代工のオールコートでの激しいプレッシャーからボール運びに苦戦し、能代工の速い展開から立て続けに得点を許してしまう。残り5分となったところで能代工は37-42とリードを広げると、さらに#10中島のジャンプシュートや#4土屋のレイアップで加点し、45-53能代工8点リードで前半を終了する。

3Q、延岡は#5バンバの3Pや#6平田のレイアップでじわじわと得点を詰め始める。能代工は#10中島の連続得点で食い下がるものの、ここにきて焦りからパスミスや連続失点を連発し、延岡に得点を許してしまう。残り3分を切ったところで、延岡は#5バンバのレイアップで逆転し69-66延岡3点リードで3Qを終了する。

4Q、序盤、能代工は速いパス回しから#4土屋#7野里の3Pで同点に追いつく。延岡は#5バンバの高さを生かした攻撃で突き放そうとするものの、能代工も#4土屋の3Pなどロングシュートを確実に決めて食い下がる。一進一退の攻防が続いたものの、残り3分を切ったところで延岡は#4寺園のレイアップなどで86-82と再びリードに成功する。シュートが落ち始めた能代工はタイムアウトを取り、立て直しを図るがファウルがかさみその後も延岡に失点を許してしまう。結局、高さを生かして確実に得点を重ねた延岡学園が96-88で能代工を下した。